



その静寂に、
心を澄ませる。
かつてない全貌へ。

東山魁夷

生誕120年

Higashiyama Kaii: A Retrospective

展

大阪中之島美術館開館5周年記念 Celebrating the Museum's 5th Anniversary

2027年
10月9日〔土〕
12月12日〔日〕

会場

大阪中之島美術館 5階展示室
〒530-0005
大阪市北区中之島4丁目3-1

主催

大阪中之島美術館
日本経済新聞社
テレビ大阪
神戸新聞社

展覧会公式サイト

<https://art.nikei.com/kaii20/>

お問い合わせ

06-4301-7285

(大阪市総合ホールセンターなにわホール、
年中無休 午前8時〜午後9時)

東山魁夷 (緑響く) 昭和57年(1982)
長野県立美術館・東山魁夷館



大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA



開催趣旨

情感にみちた静謐な風景画により、戦後を代表する国民的日本画家と謳われてきた東山魁夷（1908 - 1999）。本展覧会は東山魁夷の生誕120周年を前に開催する大規模な回顧展です。

横浜生まれ、東京美術学校（現・東京藝術大学）を卒業した東山は、昭和8（1933）年にドイツ留学を果たし、後の画業につながる大きな一歩を踏み出しました。しかし、太平洋戦争に応召し終戦前後に相次いで肉親を失うなど、苦難の時代を過ごしました。どん底にあった東山に活路を与えたのは、自然が発する生命の輝きでした。昭和22（1947）年に日展で特選を受賞した《残照》の、日没の光に照らされて輝く山岳風景には、当時の東山の心情が色濃く反映されています。

東山の風景画の大きな特色は、初期の代表作《道》（1950年）が早くも示したように、平明な構図と澄んだ色彩にあります。日本のみならず、ヨーロッパを旅して研鑽を積んだ東山は、装飾性を帯びた構図においても自然らしさを失わず、青が印象的な澄んだ色彩の力も駆使し、見る者の感情とも響きあう独自の心象風景を探求し続けました。

本展覧会では、東山魁夷の画業を代表作と秘蔵作品の数々でたどります。また、完成までに11年の歳月を費やした、東山芸術の集大成とも言える《唐招提寺御影堂障壁画》を特別に再現展示します。さらに、修復を経て昨年初公開され大きな話題を呼んだ、皇居宮殿壁画《朝明けの潮》の原寸大下図も展示いたします。20世紀とともに生きた東山の創作の全貌を紹介する、没後大阪で初めて開催される本格的な回顧展となります。

作家略歴



東山魁夷（ひがしやま・かい、1908 - 1999）

日本画家、横浜生まれ。本名、新吉。3歳の時、神戸に引越し同地で育つ。1926年、東京美術学校日本画科に入学。卒業後、同校研究科に入学し結城素明に師事、雅号を「魁夷」とした。研究科修了後、2年間ドイツに留学して西洋美術史を学ぶ。1947年《残照》が日展で特選受賞、1950年日展に《道》を発表。日本中を写生して回り、自然や風景を見つめ、そこに現れた生命に自らの心を重ねた風景画を描き、「国民的風景画家」、「国民的画家」と呼ばれる存在となる。1969年文化勲章受章。また皇居宮殿壁画や唐招提寺御影堂障壁画など障壁画も数多く手掛けた。

本展のみどころ

- 1 大阪では45年ぶり、没後はじめての大回顧展
- 2 出品作品は約90件、《残照》《道》《緑響く》など代表作を網羅
- 3 知られざる個人や企業が所有する作品も出品
- 4 東山芸術の集大成《唐招提寺御影堂障壁画》を再現展示
- 5 皇居宮殿壁画の原寸大下図 《朝明けの潮 色分け大下図》を展示



■ みどころ1 大阪では45年ぶり、没後はじめての大回顧展

大阪では1982年に国立国際美術館（当時は移転前につき吹田市）で開催された「東山魁夷展」以来45年ぶりの開催、大阪市内では初めての大規模展となります。また本展は、大阪中之島美術館のみでの開催です。

■ みどころ2 出品作品は約90件、《残照》《道》《緑響く》など代表作を網羅

昭和22（1947）年に日展で特選を受賞した《残照》、初期の代表作《道》（1950年）、青が印象的な《緑響く》をはじめ、東山魁夷の代表作を網羅する、まさに決定版といえる展覧会です。

<主な出品予定作品>

《残照》	1947年	東京国立近代美術館	＊第3回日展特選
《道》	1950年	東京国立近代美術館	
《年暮る》	1968年	山種美術館	
《緑響く》	1982年	長野県立美術館・東山魁夷館	
《白馬の森》	1972年	長野県立美術館・東山魁夷館	
《凍池》	1977年	北九州市立美術館	
《行く秋》	1990年	長野県立美術館・東山魁夷館	



東山魁夷 《道》 1950年
東京国立近代美術館



東山魁夷 《凍池》 1977年
北九州市立美術館



（左から）
《晩鐘》 1971年 北澤美術館
《渚の白馬》 1972年 個人蔵
どちらも東山魁夷



■ みどころ3 知られざる個人や企業が所有する作品も出品

個人や企業が所有し、大切に保管されてきた作品の中から、久しく一般に公開されていない知られざる東山魁夷の優品を紹介します。

＜主な出品予定作品＞

《早春のディアハーヴェン》	1963年	麒麟ホールディングス株式会社
《春静》	1963年	株式会社三井住友銀行
《渚の白馬》	1972年	個人蔵

東山魁夷 《早春のディアハーヴェン》 1963年
麒麟ホールディングス株式会社



■ みどころ4 東山芸術の集大成《唐招提寺御影堂障壁画》を再現展示

1971年に東山は、前年の暮れに奈良の唐招提寺から受けた、御影堂障壁画と鑑真和上を安置する御厨子内部装飾の依頼を正式に受諾します。幾多の困難を乗り越えて中国から来日し唐招提寺を開山した鑑真和上への讃仰と崇敬の念を込めて、東山は日本の理想的な自然としての海と山、鑑真和上の祖国である中国の風景を彩色画と水墨画で描きました。

作品は5室分、68面の襖絵、床貼付の壁画、御厨子内部の扉絵からなり、最後の御厨子内部に、和上が初めて日本に降り立った地である鹿児島島の秋目浦風景である《瑞光》を奉納したときは、構想から11年もの歳月が流れていました。

本展では通常非公開となっている御影堂内部をほぼそのままに再現展示し、東山の記念碑的大作である襖絵を一堂に公開します。

＜唐招提寺御影堂＞

奈良市にある唐招提寺は律宗の総本山で、御影堂は境内の北側に位置する。興福寺旧別当寺院、一乗院の遺構を1964年に現在地に移築した。通常は非公開となっている。



東山魁夷 《唐招提寺御影堂障壁画》(濤声)
1975年 唐招提寺



東山魁夷 《唐招提寺御影堂障壁画》(山雲)
1975年 唐招提寺

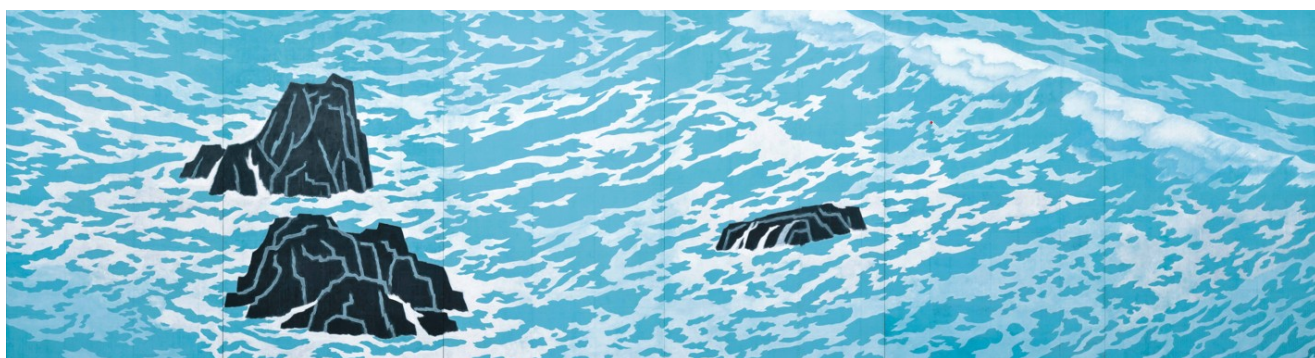
＊いずれも唐招提寺御影堂内



■ みどころ5 皇居宮殿壁画の原寸大下図 《朝明けの潮 色分け大下図》を展示

皇居宮殿壁画《朝明けの潮》の原寸大下図は、約縦4m、横15m（一面が約縦4m、横2.5mで、それが6面で構成）にもなる大掛かりなものです。本作は所蔵する長野県立美術館・東山魁夷館が2年をかけ公開できるように額装・整備を行い、昨年（2025年）同館で開催された「東山魁夷館開館35周年記念展 東山魁夷 永遠の海 ― 私は、いま、波の音を聴いている」で57年ぶりに公開されました。本展でもこの《朝明けの潮 色分け大下図》を展示します。

皇居宮殿にある本画は通常一般公開されていないため、皇居外で完成作と同じ大きさを体感できるのは本展で展示することの大下図のみです。



東山魁夷 《朝明けの潮 色分け大下図》
1967年 長野県立美術館・東山魁夷館

開催概要

展覧会名 大阪中之島美術館開館5周年記念 生誕120年 東山魁夷展

Celebrating the Museum's 5th Anniversary

Higashiyama Kaii: A Retrospective

会期 2027年10月9日（土）－ 12月12日（日）

＊会期中展示替えあり

休館日 月曜日

＊10月11日（月・祝）、11月22日（月）は開館

会場 大阪中之島美術館 5階展示室

主催 大阪中之島美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪、神戸新聞社

協力 東山魁夷記念一般財団法人

展覧会公式サイト <https://art.nikkei.com/kaii120/>

お問い合わせ 06-4301-7285 大阪市総合コールセンター（なにわコール）＊受付時間8:00－21:00（年中無休）

報道関係者

「生誕120年 東山魁夷展」広報事務局（共同PR内）

お問い合わせ先

担当：三井 TEL：03-6264-2382 E-MAIL：kaii120-pr@kyodo-pr.co.jp



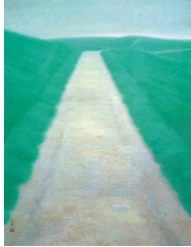
[広報用画像一覧] 大阪中之島美術館開館5周年記念 生誕120年 東山魁夷展

本展の展示物等の画像を、広報素材としてご提供いたします。下記アドレスよりお申し込みください。

[広報用画像申込先]

kaii120-pr@kyodo-pr.co.jp

■ 広報画像をご使用の際は、別紙に記載の「画像使用全般に関する注意」を必ずご確認ください。

(1) 	(2) 	(3) 
(4) 	(5) 	(6) 
(7) 	(8) 	(9) 
(10) 	(11) 	(12) 



[広報用画像クレジット一覧] 大阪中之島美術館開館5周年記念 生誕120年 東山魁夷展

No.	クレジット・作品名・年代・キャプション
1	メインビジュアル ＊クレジットなし
2	メインビジュアル ＊クレジットなし
3	東山魁夷ポートレート ＊クレジットなし
4	東山魁夷 《緑響く》 1982年 長野県立美術館・東山魁夷館
5	東山魁夷 《道》 1950年 東京国立近代美術館
6	東山魁夷 《凍池》 1977年 北九州市立美術館
7	東山魁夷 《晩鐘》 1971年 北澤美術館
8	東山魁夷 《渚の白馬》 1972年 個人蔵
9	東山魁夷 《早春のディアハーヴェン》 1963年 キリンホールディングス株式会社
10	東山魁夷 《唐招提寺御影堂障壁画》（濤声） 1975年 唐招提寺
11	東山魁夷 《唐招提寺御影堂障壁画》（山雲） 1975年 唐招提寺
12	東山魁夷 《朝明けの潮 色分け大下図》 1967年 長野県立美術館・東山魁夷館



[広報用画像申込書] 大阪中之島美術館開館5周年記念 生誕120年 東山魁夷展

[画像使用全般に関しての注意]

- ・本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的とした報道に限らせて頂きます。ご使用可能期間は本展会期終了までです。
- ・ご使用の際は、展覧会名、会期、会場名、所定の作品データ、所定のクレジットを必ずご掲載ください。
- ・画像はすべて全図で使用してください。トリミング、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・本展終了後の掲載、画像の二次使用はできません。本展会期中であっても再放送や転載をされる場合は広報事務局にご連絡ください。
- ・展覧会基本情報と広報画像の確認のため、校正を本展広報事務局にお送りくださるようお願いいたします。
- ・インターネットでご紹介いただく場合はコピーガードをかけてご使用のうえ掲載URLをお知らせください。
- ・掲載誌・紙（ご紹介号）、同録DVDほかを下記広報事務局まで1部お送りください。

[広報用画像申込先]

kaii120-pr@kyodo-pr.co.jp

ご希望の広報画像／ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	
貴社名／	
お名前／	
部署／	ご所属／
貴媒体名／	媒体種／
サイトURL／	
掲載号・露出予定日／	月号（ 月 日号）／ 月 日発売予定 ☐ WEBへの転載あり
TEL／	FAX／
E-MAIL／	
☐ チケットプレゼントを希望する（最大2組4名様） ＊招待券のご提供は、広報用画像1点以上を掲載の上、本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。	
送付先／ 〒 —	
備考／	

報道関係者
お問い合わせ先

「生誕120年 東山魁夷展」広報事務局（共同PR内）
担当：三井 TEL： 03-6264-2382 E-MAIL： kaii120-pr@kyodo-pr.co.jp